



瀬谷小だより

11月号

平成30年10月31日
横浜市立瀬谷小学校

笑顔いっぱいの学校

副校長 西山 久美子

先日のセヤリンピックは、気持ちの良い秋空のもと、子供たちは全力を出し切り、充実した一日になりました。温かいご声援や励ましのお言葉をかけてくださった保護者の皆様、地域の皆様、準備や片づけにご協力くださった皆様、様々な面で運営にご尽力くださったPTAの皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年のセヤリンピックのスローガンは、「全員が笑顔120% 心を一つに 燃えろ SYS魂」でした。このスローガンを決定するにあたり、代表委員会で真剣な話し合いが持たれました。「瀬谷小のみんなが、笑顔で臨むことを大切にしたい」、「全校みんなが同じ思いで一致団結したい」、「演技や競技に全力で取り組みたい」という子供たちの熱い思いが込められ、子供たちは、まさにスローガンの通り「笑顔120%」で自分の力を出し切りました。子供たちの輝く笑顔は、見ている私たちも元気ももらい幸せな気持ちになります。こうした行事だけではなく、日ごろの学校生活の中でも子供たちの心からの笑顔があふれるように支援を続けています。

ところで、私たちはどんなときに「笑顔」になるのでしょうか。楽しいとき、うれしいとき、何かを達成できたとき、美しいものに出会ったとき・・・人は自然と笑顔になります。心で感じたことが顔の表情となって表れるのです。ところが、6年生の教科書に「笑うから楽しい」という教材文があります。「楽しいから笑う」ではなく「笑うから楽しい」なのです。教科書には「私たちの脳は、体の動きを読み取って、それに合わせた心の動きを呼び起こす」とあります。確かに、昔から「笑う門には福来る」とあるように笑うことが幸せをもたらすことは言われてきましたが、実は、笑顔は科学的にも非常に効果があることが知られています。笑顔になると、免疫細胞の働きが活性化し免疫力がアップするそうです。また、笑うことで脳への血流がよくなり記憶や判断力も高まるとのこと。さらには、笑うことでストレスが解消されプラス思考になるとも言われています。笑顔になることで、心も体も元気になる。瀬谷小の子供たちの心が育っているのは、瀬谷っ子の輝く笑顔からきているのだと改めて感じています。



明日から11月。11月15日には瀬谷小学校の128回目の開校記念日を迎えます。地域の方に支えられ、これまで瀬谷小の子供たちは安心して学校生活を送ってきました。これからも、子供たちの笑顔と豊かな心の育成のため、保護者・地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。